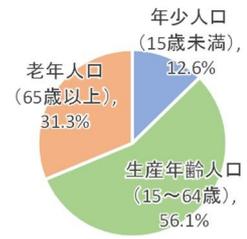


	世帯数	人口	年齢別人口
現在	75 世帯	198 人	15 歳未満 (年少人口) 25 人
			15~64 歳 (生産年齢人口) 111 人
			65 歳以上 (老年人口) 62 人
約 50 年前	49 世帯	196 人	



古代律令制では播磨国神前郡高岡里、中世は高岡荘に含まれたと考えられます。寛永14年(1637)に長野村から分村して成立した集落ですが、「さくら」の地名は戦国期から見る事ができます。近世は姫路藩領で、大庄屋組は山崎組に属し、江戸時代の後期には、現在に伝わる獅子舞が始められました。明治8年(1875)に神谷村・桜村・長野村・板坂村の4村が合併して高岡村が成立しました。なお、『兵庫県播磨国地種便覧』によると、明治14年(1881)の高岡村の戸数は188戸・人口は990人でした。高岡村は、明治22年(1889)に福崎村の大字となりました。第二次大戦中には、戦局の悪化に伴い、「高橋の弾薬庫」に保管されていた大量の爆薬の疎開のために多くの弾薬塚が造られ、そのいくつかは現在も確認できます。集落は桜山の麓に家屋が密集し、山の中腹に氏神の大年神社と薬師院(薬師庵)、地藏堂があります。山の東に塩田池、西に西池があり、これらの池は集落内の農地の灌漑用水としての重要な役割を果たしています。



大年神社



薬師堂



秋祭り・屋台



獅子舞



庚申塔



桜東畑遺跡 (現地説明会)

※現在の人口・世帯数・年齢別人口は令和4年5月末時点、10年間の人口・世帯数の推移は各年5月末時点、約50年前の人口・世帯数は昭和52年6月末時点であり、いずれも住民基本台帳による値です。なお、年齢別人口のみ外国人を含む値になっています。

歴史文化遺産一覧

分類	名称	年代	概要	歴史文化ものがたり											
				①	②	③	④	⑤	⑥						
建造物	建築物	1	薬師院（薬師庵）	昭和前期	木造平屋建、瓦葺。桜区が所有・管理している。							●			
		2	大年神社本殿・拝殿・幣殿	昭和前期	木造平屋建、銅板瓦葺。大正末～昭和初期に移築した記録が残る。桜区が所有・管理している。								●		
	石造物	3	庚申塔	—	高さ1m73cm、幅43cm、厚さ20cmの大きさの石の正面に青面金剛をあらわす種子と「庚申塔」という文字が刻まれている。 【町指定有形民俗文化財】								●		
		4	地藏菩薩坐像（薬師院）	慶応3年（1867）	地藏菩薩の石仏。台座正面に造立年、左に世話人の名が記されている。								●		
		5	地藏菩薩立像（薬師院）	不明	地藏菩薩の石仏。								●		
		6	名号塔（地藏堂）	正徳4年（1714）	正面には梵字と「南無阿弥陀仏」、右には造立年月日、左には「念仏講中」の文字が記されている。								●		
		7	三界万霊塔（薬師院）	文化13年（1816）	地藏坐像の台石。正面には「三界万霊塔」、右に造立年が記されている。								●		
		8	十三仏塔（薬師院墓地）	大正14年（1925）	正面には像容とともに「十三仏」の文字、造立年月や施主等の名が記されている。								●		
		9	石鳥居（大年神社）	大正10年（1921）	石鳥居。右柱正面には「奉」、背面には造立（再建）年月日、左柱正面には「納」、背面には願主が記されている。								●		
		10	石灯籠（大年神社）	明和2年（1765）	石灯籠。右に造立年、左に造立月日が記されている。								●		
		11	石灯籠（大年神社）	明治38年（1905）	石灯籠。正面には「奉献」、右に造立年月、背面に「征露記念灯」と記され、基礎の正面には「氏子中」、右に出征軍人、背面に周施人・石工が記されている。								●		
		12	手水石（大年神社）	文政2年（1819）	手水石。正面に「清浄水」の文字とともに造立年月日・願主が記されている。								●		
		13	石室（桜峠）	不明	石室。								●		
美術工芸品	絵画	14	神馬（飾馬）図（大年神社）	文化11年（1814）	奉納者は「当村氏子中」とある。72×97cm。				●			●			
		15	鶴と童子図（大年神社）	文政5年（1822）	画家は「松齊」、奉納者は「西組若連中」とある。99×108cm。				●			●			
		16	中国武將図（大年神社）	天保9年（1838）	画家は「村上月」、奉納者は「当村氏子」とある。92×122cm。				●			●			

※歴史文化ものがたり：①学問・芸術文化のふるさと、②郷土の暮らし、③ため池・疎水と生業、④祭りと信仰、⑤人・物・情報の十字路口、⑥播磨のなかのふくさき

分類	名称	年代	概要	歴史文化ものがたり						
				①	②	③	④	⑤	⑥	
美術工芸品 絵画	17	玄德渡檀溪図(大年神社)	文久3年(1863)	奉納者は不明。蜀の帝王となった劉備玄德が、愛馬的芦のおかげで檀溪の激流を渡り、敵の謀略を逃れて九死に一生を得たという故事。92×121.5 cm。	●			●		
	18	日露戦争軍事郵便額(大年神社)	明治37年(1904)	奉納者は不明。日露戦争□記念端書と、出征陸軍騎兵鬼本芳太郎より郷里の知己に寄する書翰(書簡)。51×65.5 cm。	●			●		
	19	義経八艘図(大年神社)	昭和3年(1928)	奉納者は「梶浦」とある。84×98 cm。	●			●		
	20	仁田四郎猪狩図(大年神社)	昭和3年(1928)	奉納者は「大杉貞次」とある。83×99 cm。	●			●		
	21	相撲番付額(大年神社)	昭和25年(1950)	奉納者は不明。127×124 cm。	●			●		
	22	武者絵図(大年神社)	不明	奉納者は不明。54×39.5 cm。	●			●		
	23	歌舞伎題材図(大年神社)	不明	奉納者は不明。38×48.5 cm。	●			●		
	24	日清大戦争平壤攻撃図(大年神社)	不明	奉納者は不明。画家は「紫龍」とある。78×120.5 cm。	●			●		
	25	明治27年日清大戦争□(大年神社)	不明	奉納者は不明。破損している。	●			●		
	26	松崎大尉勇戦豊島沖の海戦図(大年神社)	不明	奉納者は不明。画家は「紫龍」とある。89.5×150 cm。	●			●		
	27	鍾馗図(大年神社)	不明	奉納者は「成年女」とある。57×66.5 cm。	●			●		
	28	楠正成図(大年神社)	不明	奉納者は「成年女」とある。57×66.5 cm。	●			●		
彫刻	29	薬師如来坐像(薬師院)	不明	薬師院に安置されている薬師如来坐像。詳細調査は未実施。				●		
書跡・典籍・古文書・歴史資料	30	大年神社移転再建上棟棟札	昭和3年(1928)	桜区蔵。大年神社の棟札。総高126.7×上24.3下25.0 cm、厚さ2.5 cm。				●		
有形の民俗文化財	祭具	31	屋台(桜区)	—	神輿屋根型屋台。平成13年(2001)に屋台及び屋台巡行を復活。屋台棟は網干の熊見地区より譲り受け、狭間は姫路の彫刻師・久保経一長正氏が彫り上げた作品と言われている。				●	●
	その他の有形の民俗文化財	32	力石(桜公民館)	不明	4個。50×36×34 cm、42×39×27 cm、52×33×33 cm、42×39×27 cm。いずれも切付無し。				●	

※歴史文化ものがたり：①学問・芸術文化のふるさと、②郷土の暮らし、③ため池・疎水と生業、④祭りと信仰、⑤人・物・情報の十字路口、⑥播磨のなかのふくさき

分類	名称	年代	概要	歴史文化ものがたり						
				①	②	③	④	⑤	⑥	
無形の民俗文化財 年中行事・民俗芸能	33	獅子舞	江戸時代後期	獅子・横笛・太鼓で構成されており、獅子の周りで囃子と呼ばれる子どもたちが、刀や長刀をもって踊る。後継者不足により一時途絶えたが、復活に取り組み、平成25年(2013)の秋季例大祭で獅子舞が奉納された。平成27年(2015)からは幼児園生による若獅子の舞も奉納されている。 【町指定無形民俗文化財】				●		
	34	秋祭り(福崎)	—	福崎地区・高岡地区の屋台13台(布団屋根型6台、神輿屋根型7台)が二之宮神社に集まる。本宮では、宮元である山崎屋台が12台の屋台をJR福崎駅前へ迎えに行き、福崎駅前で屋台が練り上げられた後、二之宮神社に宮入りする。拝殿で神事が行われ、五穀豊穡が祈願された後、宮出しが行われる。山崎の木方による合図で一斉に屋台が動きだし、練り合わせを行う「13台サラバ練り」は見どころである。			●	●	●	
	35	トンド	—	1月14日に薬師広場で行われる。				●		
	36	斎灯(節分)	—	2月3日に大年神社で行われる。				●		
	37	灌仏会(花まつり)	—	5月8日に薬師院で行われる。				●		
	38	湯立て	—	7月21日に大年神社で行われる。				●		
	39	水神さん(雨乞い)	—	7月23日に清溝(村の水源)で行われる。				●		
	40	地藏祭	—	8月23日に地藏堂で行われる。				●		
	41	お日待ち	—	12月21日に大年神社で行われる。				●		
	42	伊勢講	—	代表者を立てての伊勢参りは数年前から行われていないが、関連する行事は残っている。				●		
遺跡 古墳・その他の墓	43	塩田山東古墳	古墳時代	古墳時代の円墳。石室は横穴式石室と思われ、須恵器が出土している。別名「桜谷古墳」と呼ばれる。		●				
	44	塩田山東2号墳	古墳時代	古墳時代の古墳。遺物の出土があったことが伝えられているが詳細は定かではない。		●				

※歴史文化ものがたり：①学問・芸術文化のふるさと、②郷土の暮らし、③ため池・疎水と生業、④祭りと信仰、⑤人・物・情報の十字路口、⑥播磨のなかのふくさき

桜

分類	名称	年代	概要	歴史文化ものがたり						
				①	②	③	④	⑤	⑥	
遺跡	散布地・集落跡・生産遺跡等	45	林谷遺跡	縄文時代の遺物が出土しているが、明確な遺構は確認されていない。南側には炭・焼土を伴う、古墳時代から中世にかけての集落跡の遺構が確認されている。		●				
		46	桜遺跡	かつて七種川は氾濫を繰り返し、当遺跡の一部に旧河道が確認されている。		●				
		47	狐塚遺跡	中央部と北端は遺構の残りが悪いものの、北側の一部と南側で中世の遺構が確認されている。		●				
		48	桜竹之後遺跡	圃場整備に伴う平成29年(2017)の調査で新たに確認された中世の遺跡。		●				
		49	桜東畑遺跡	圃場整備に伴う平成29年(2017)の調査で新たに確認された中世の遺跡。		●				
	街道・古道等	50	七種道	七種川を通り高岡地域や田口へ続く道。この道を示す道標が現在もいくつか確認されている。					●	
戦跡	51	弾薬壕	戦局の悪化に伴い、「高橋の弾薬庫」の爆薬を避難させるために桜では20~30カ所の弾薬壕が掘られたとされる。この弾薬壕は、田に水を供給するために水を貯めており、入れない。入口はバリケードを置いて封鎖してある。						●	
名勝地	河川・滝	52	七種川	七種の滝を源として南流し、市川に合流する。延長5,924m。かつては大雨が降る度に洪水を起こした。普段はほとんど水がなく、「七種川と水の話」という民間説話が伝わる。		●				
その他	信仰の場	53	大年神社	大年大神を主祭神とする桜区の氏神。大正8年(1919)に現在地に遷座し、日枝神社、加茂神社、稻荷神社を合祀。安産祈願に参拝する人も多い。				●		
		54	薬師院(薬師庵)	1月14日には薬師院前の広場でトンドが行われる。5月8日には灌仏会(花まつり)が行われる。				●		
		55	地藏堂	薬師院の脇に位置する。8月23日には地藏祭が行われる。				●		

※歴史文化ものがたり：①学問・芸術文化のふるさと、②郷土の暮らし、③ため池・疎水と生業、④祭りや信仰、⑤人・物・情報の十字路口、⑥播磨のなかのふくさき

歴史文化遺産の保存・活用の取組等

- ・桜屋台太鼓保存会を組織し、屋台太鼓の伝統行事の後継者を育成し次世代に伝承しています。
- ・桜獅子舞保存会を組織し、会員等を対象とした練習会を開催し、後継者の育成、所作の伝承を実施しています。一時途切れていた獅子舞は昭和52年（1977）頃に復活しましたが、後継者不足により近年中断しており、再度の復活を目指して活動を行っています。



桜獅子舞保存会による後継者育成